

心理職 平成28年8月29日実施
集団討論の課題

我が国においては、世界のどの国も経験したことがない超高齢社会を迎えている。

なかでも、認知症の高齢者については、平成24年時点で約7人に1人であったものが、高齢化の進展に伴い、平成37年には約5人に1人が認知症の状態にあると推計されている。

認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、行政が取り組むべき課題や方向性について、グループとしての意見をまとめてください。